

誰にでも使える Unix 講座

第 2 回

「世界は 1 つ」

安岡孝一

```
yasuoka : root さん、root さん。
root : 何だい？
yasuoka : 今 login したら変なメッセージが出たんですけど、大丈夫ですか？

login: yasuoka
Password:
Last login: Fri Feb 23 16:20:57 on console
MoonOS 1.1 (GINKAKU) Mon Jan 1 11:11:11 GMT+0900 1990
#####

May peace prevail on earth.

#####
You have new mail.
% █

root : どれどれ。ああ、You have new mail. か。メールが来てるね。
yasuoka : メールって？
root : 読んで字のごとく、手紙だよ。
yasuoka : 手紙が来てるんですか？ どこに？
root : まあ、まあ。まずは Mail を実行してごらん。
yasuoka : Mail？
root : BSD でメールを読むコマンドだよ。ただし、System V ではちょっと違
う。
```

Mail

BSD のみ。メールを読む。

mailx

System V のみ。メールを読む。

基本的な内部コマンドは以下の通り。

h	メールの一覧を出力する
p 番号	指定された番号のメールを出力する
s 番号 ファイル名	指定された番号のメールをファイルに書き出す
d 番号	指定された番号のメールを削除する
q	終了（残ったメールは mbox に書き出す）
x	強制終了

```
yasuoka : その BSD とか System V とかって何ですか？
root : Unix は大きく分けて 2 つの系統があるんだよ。1 つが BSD、1 つが Sys-
tem V。ginkaku は BSD のマシンだから、メールを読むコマンドは Mail
なんだ。System V のマシンなら、mailx だよ。
yasuoka : はあ、そうですか。

% Mail (ぼこ)
Mail Version 9/4/88 Type ? for help.
"/usr/spool/mail/yasuoka": 2 messages 2 new
>N 1 ochi Sat Feb 24 13:11 11/269
N 2 takahash Sat Feb 24 14:19 12/292
& █

root : うん、ochi くと takahash くんからメールが来てるね。ochi くんの方を
読むなら、p1 でリターン。takahash くんの方を読むなら、p2 でリター
ン。
yasuoka : p1 でリターンっと。

& p1 (ぼこ)
Message 1:
From ochi Sat Feb 24 13:11:12 1990
Received: by ginkaku.kudpc.kyoto-u.ac.jp (1.1/ku2.22)
id AA00626; Sat, 24 Feb 90 13:11:10 JST
Date: Sat, 24 Feb 90 13:11:10 JST
From: ochi
Message-Id: <9002240411.AA00626@kudpc.kyoto-u.ac.jp>
To: yasuoka
Status: R

Konban Nomimasenka?
```

```
ochi

& ■
何だかわけのわからないのが、いっぱい出てきましたけど？
root : Status: R から後が本文だよ。
yasuoka : 「今晚、飲みませんか？」 ああ、飲むお誘いか。
root : このメールをファイルに保存しておくなら、 s1 ファイル名だよ。
yasuoka : ファイル名は何でもいいんですか？
root : うん。
yasuoka : じゃあ、ochikun にしようっと。

& s1 ochikun (ぼこ)
"ochikun" [New file] 11/279
& ■

root : たしかもう 1 通来てたね。 h を実行してみて。
yasuoka : はい。

& h (ぼこ)
>* 1 ochi Sat Feb 24 13:11 11/269
N 2 takahash Sat Feb 24 14:19 12/292
& ■

ああ、takahash くんからのやつですね。
root : 読むなら p2。
yasuoka : p2 っと。

& p2 (ぼこ)
Message 2:
From takahash Sat Feb 24 14:19:57 1990
Received: by ginkaku.kudpc.kyoto-u.ac.jp (1.1/ku2.22)
id AA00645; Sat, 24 Feb 90 14:19:55 JST
Date: Sat, 24 Feb 90 14:19:55 JST
From: takahash
Message-Id: <9002240519.AA00645@kudpc.kyoto-u.ac.jp>
To: yasuoka
Status: R
```

```
Hello! Welcome to ginkaku.

takahashi

& ■

root : 別に内容のないメールだね。ファイルに書き出すなら s2 ファイル名だけ
ど、削除するなら d2 だよ。
yasuoka : じゃあ、d2 っと。

& d2 (ぼこ)
& ■

root : 削除されたかどうか h で確かめてごらん。
yasuoka : ええと。

& h (ぼこ)
>* 1 ochi Sat Feb 24 13:11 11/269
& ■

あ、消えちゃった。
root : 終了は q。
yasuoka : 終了は q っと。

& q (ぼこ)
% ■

root : q を実行した時に、もしまだ削除もファイルへの書き出しもされてないメー
ルがあったら、それは mbox ってファイルに書き出されるよ。
yasuoka : そうなんですか。
root : さて、ls してごらん。
yasuoka : はい。

% ls (ぼこ)
ochikun
% ■

root : ochikun ってファイルが出来てるだろ。その中にさっきの ochi くんからの
メールが入ってるはずだ。
yasuoka : へーえ。
root : 何だ信用してないのかい？ じゃ、試しに cat ochikun としてごらん。
```

```
cat ファイル名
    ファイルの内容を出力する。ファイル名は複数書いてもよい。
```

```
yasuoka : cat ochikun ですか？
          % cat ochikun (ぼこ)
          From ochi Sat Feb 24 13:11:12 1990
          Received: by ginkaku.kudpc.kyoto-u.ac.jp (1.1/ku2.22)
                  id AA00626; Sat, 24 Feb 90 13:11:10 JST
          Date: Sat, 24 Feb 90 13:11:10 JST
          From: ochi
          Message-Id: <9002240411.AA00626@kudpc.kyoto-u.ac.jp>
          To: yasuoka
          Status: R

          Konban Nomimasenka?
                  ochi

          % █
          あ、ほんとだ。さっきのやつだ。これに返事を書きたいんですけど、どう
          したらいいですか？
```

```
Mail アドレス < ファイル名
    BSD のみ。ファイルの内容をメールとして、アドレスに送る。
mailx アドレス < ファイル名
    System V のみ。ファイルの内容をメールとして、アドレスに送る。
    いずれも ~ で始まる行がファイル中にあってはならない。
```

```
root :   まず返事の入ったファイルを作らなきゃいけないね。
yasuoka : ファイルはどうやって作るんですか？
root :   基本は vi だな。
```

```
vi ファイル名
    ファイルをエディットする。
    基本的な内部コマンドは以下の通り。
```

h	カーソルを左へ移動
j	カーソルを下へ移動
k	カーソルを上へ移動
l	カーソルを右へ移動
i 文字列 (エスケープ)	カーソルの前に文字列を挿入
a 文字列 (エスケープ)	カーソルの後に文字列を挿入
x	カーソルの 1 文字を削除
dd	カーソルのある行を削除
J	カーソルのある行と次の行をつなぐ
:数 (ぼこ)	「数」行目にカーソルを移動
:w (ぼこ)	ファイルに書き出す
:q (ぼこ)	終了 (書き出していない場合は終了できない)
:q! (ぼこ)	強制終了

```
root :   ファイル名は何にする？
yasuoka : うーん、henji にする！
root :   じゃあ、vi henji だ。
yasuoka : はい。

          % vi henji (ぼこ)
          あ、画面が全部消えちゃいました。~ がたくさん出てます。

          █
          ~

          "henji" [New file]
          (都合により画面の最初 2 行と最終行だけをお見せします)

root :   まず i を打って。あ、リターンは押しちゃダメだよ。
yasuoka : はい。i っと。何も出ませんよ。

          █
          ~

          "henji" [New file]

root :   それで挿入モードに入ったんだ。何か打ってごらん。
yasuoka : nanika っと。

          nanika █
          ~

          "henji" [New file]
```

```

    あ、ほんとだ。nanika 表示された。
root :   そこでエスケープを押す。
yasuoka : エスケープですか。あれ、カーソルが戻っちゃった。

    nanika
    ~

    "henji" [New file]

root :   それで挿入モードはおしまい。h を 2 回叩いてごらん。
yasuoka : hh と。カーソルが i の上に来ました。うーん、すごい。

    nanika
    ~

    "henji" [New file]

root :   そこで x。
yasuoka : x っと。あ、i が消えちゃった。

    nanika
    ~

    "henji" [New file]

root :   そこで ida と打って。
yasuoka : ida っと。あれ、da だけ表示された。

    nandaka
    ~

    "henji" [New file]

root :   i は挿入モードに入るコマンドだからね。さらにエスケープ。
yasuoka : エスケープっと。

    nandaka
    ~

    "henji" [New file]

root :   l を 2 回でカーソルを右端に持っていく。
yasuoka : nandaka の最後の a の上にカーソルが来ました。

    nandaka
    ~

    "henji" [New file]

root :   そして a。
```

```

yasuoka : a。カーソルが nandaka の後ろに行っちゃった。

    nandaka
    ~

    "henji" [New file]

root :   挿入モードに入ったんだ。そこで nda でエスケープ。
yasuoka : nda でエスケープっと。

    nandakanda
    ~

    "henji" [New file]

root :   さらに h を 4 回。
yasuoka : hhhh っと。

    nandakanda
    ~

    "henji" [New file]

root :   そこで i を押す。
yasuoka : 挿入モードですね。

    nandakanda
    ~

    "henji" [New file]

root :   で、リターン。
yasuoka : リターン？

    nanda
    kanda
    "henji" [New file]

    わっ！ kanda が次の行に行っちゃった。
root :   リターンが挿入されたんだよ。まだ挿入モードだぞ。さらに mi でエスケープ。
yasuoka : mi エスケープっと。

    nanda
    mi kanda
    "henji" [New file]

root :   k でカーソルを上へ行へ。
```

yasuoka : kっと。

```
nanda
mikanda
"henji" [New file]
```

root : よし、ファイルに書き出そう。:w。

yasuoka : :, わっ、カーソルが一番下に行っちゃった。wっと。

```
nanda
mikanda
:w
```

root : で、リターン。

yasuoka : リターン。

```
nanda
mikanda
"henji" [New file] 2 lines, 14 characters
```

root : 一旦終了しようか。:qでリターン。

yasuoka : :q、またカーソルが一番下に行った。

```
nanda
mikanda
:q
```

リターンっと。

```
%
```

root : それで vi は終了だ。ちゃんとファイルは出来たかな？ ls してみよう。

yasuoka : lsっと。

```
% ls (ぼこ)
henji  ochikun
%
```

ファイルの中を見るのは cat でしたっけ？

```
% cat henji (ぼこ)
nanda
mikanda
%
```

やった。ちゃんと出来てる。

root : よし、vi の使い方はわかったね。じゃ、返事を書いてごらん。

(間)

yasuoka : 返事が書けました。

```
% cat henji (ぼこ)
Nomimasho, nomimasho.
Ii nihonshu ga teni haittande mottekimasu.
Nanji goro ga ii?
```

YASUOKA

```
%
```

これを ochi くんを送りたいんですけど、どうしたらいいですか？

root : Mail ochi < henji でいいよ。

yasuoka : はい。

```
% Mail ochi < henji (ぼこ)
%
```

これで送れたんですか？

root : うん。System V では mailx ochi < henji だから注意するようにね。

yasuoka : メールは誰にでも送れるんですか？

root : 相手のアドレスさえわかってたらね。

yasuoka : アドレスって？

root : マシンの中では普通ユーザ ID だね。他のマシンに送る時には、さらにマシン名が必要だ。たとえば yasuoka くん to 他のマシンからメールを送るとすると、アドレスは yasuoka@ginkaku.kudpc.kyoto-u.ac.jp だ。

yasuoka : えらく長いんですね。

root : 住所だからね。でも世界中からこれで届く。

yasuoka : わあ、すごい。すると世界中どのマシンからも

```
Mail yasuoka@ginkaku.kudpc.kyoto-u.ac.jp < ファイル名
```

とすれば僕にメールが届くんですか？

root : そのマシンが ginkaku と繋がってればね。じゃ、今日はここまでしよう。

yasuoka : どうもありがとうございました。